



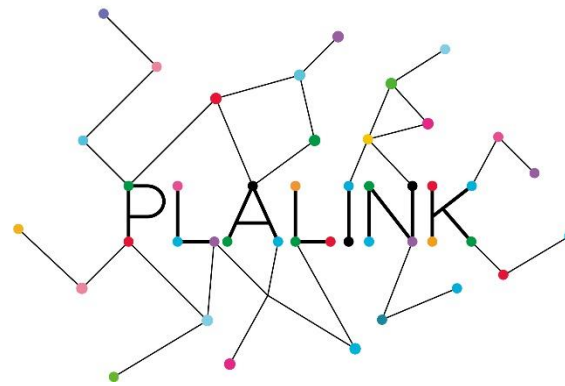
「今後の日本の成形加工業を考える」

株式会社プラリンク
代表取締役
山喜 政彦

PLALINK CORPORATION



- プラリンクのご紹介
- 歴史の振り返り
- 今後について考える



起業目的

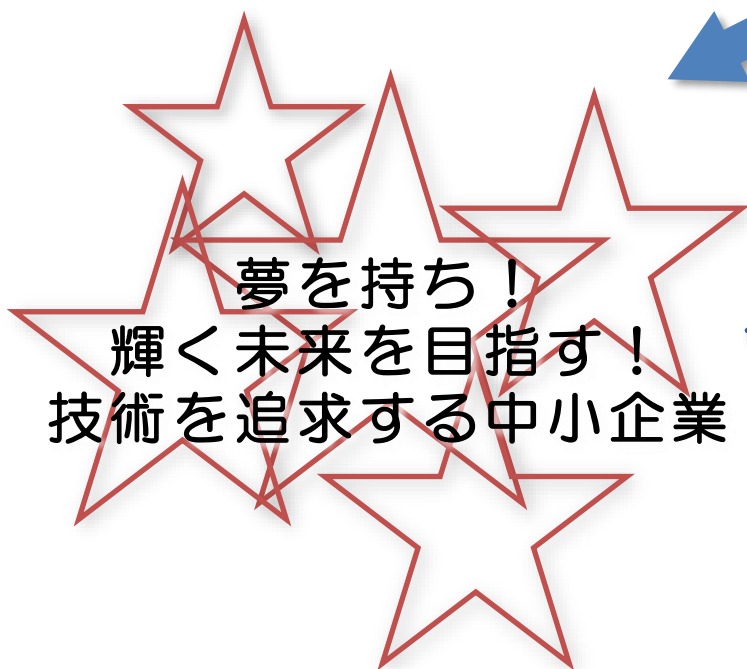
技術者を繋ぎ、未来に繋ぎ、活力の有る社会の実現に貢献する

事業目標

顧客の技術力強化、新製品開発を通して、競争力のある企業への成長をサポートすることによりWIN/WINの関係を構築する

プラリンクビジネスモデル

- 直接採用が難しいスペシャリストによるサポート
- 企業間ビジネスマッチング



新技術を開発し提案
新製品開発テーマ発掘

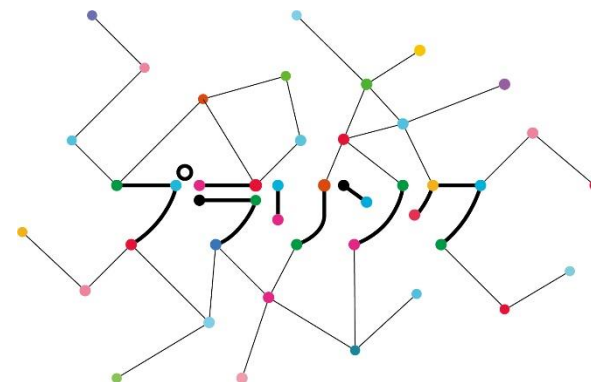


コンサルティング
・技術力強化

最終製品（自社企画開発）メーカー



新製品開発サポート



事業企画、デザイン、樹脂、CAE、金型、
成形技術のスペシャリスト集団

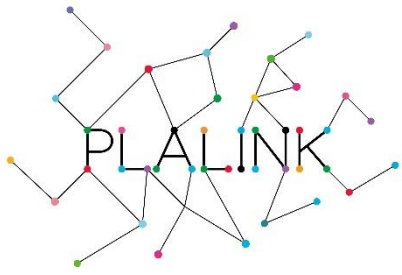


素材メーカー / 装置メーカー / 大学等研究機関



自己紹介：技術開発及び事業開発の実績

- 精工舎、河淳ではデザイナーと一緒に新製品開発を行う仕事に携わる
- 三井化学では樹脂加工技術開発の仕事に携わる
 - スーパーエンブラ超精密成形技術の開発
 - CAE（三井G開発流動解析ソフト）利用技術開発
 - スーパーエンブラ成形品事業の立上げ
 - 光ディスク成形技術強化
 - ヒート&クール射出成形システムの開発
- 大塚テクノでは精密成形品、部品事業の立上げ、競争力強化に携わる
 - スーパーエンブラ成形品事業の立ち上げ
 - リードフレームパッケージ事業の立上げ、競争力強化
 - ミニブレーカー事業の立上げ、競争力強化
- 株式会社プラリンク設立



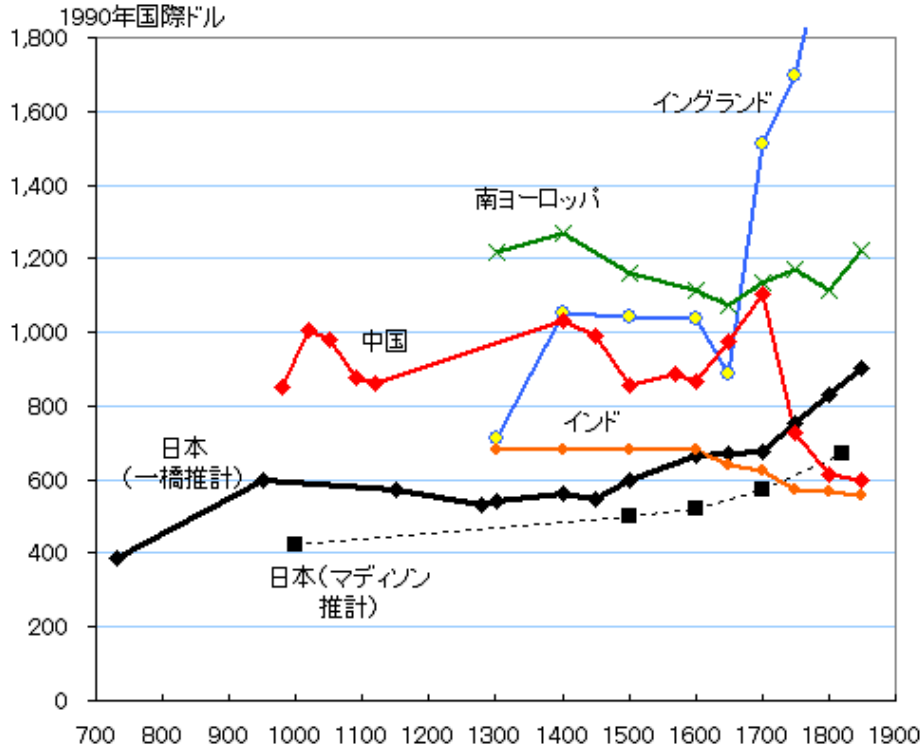
今後の日本の成形加工業について考える

- 世界経済の中での日本の位置づけ



世界主要国の名目GDP推移

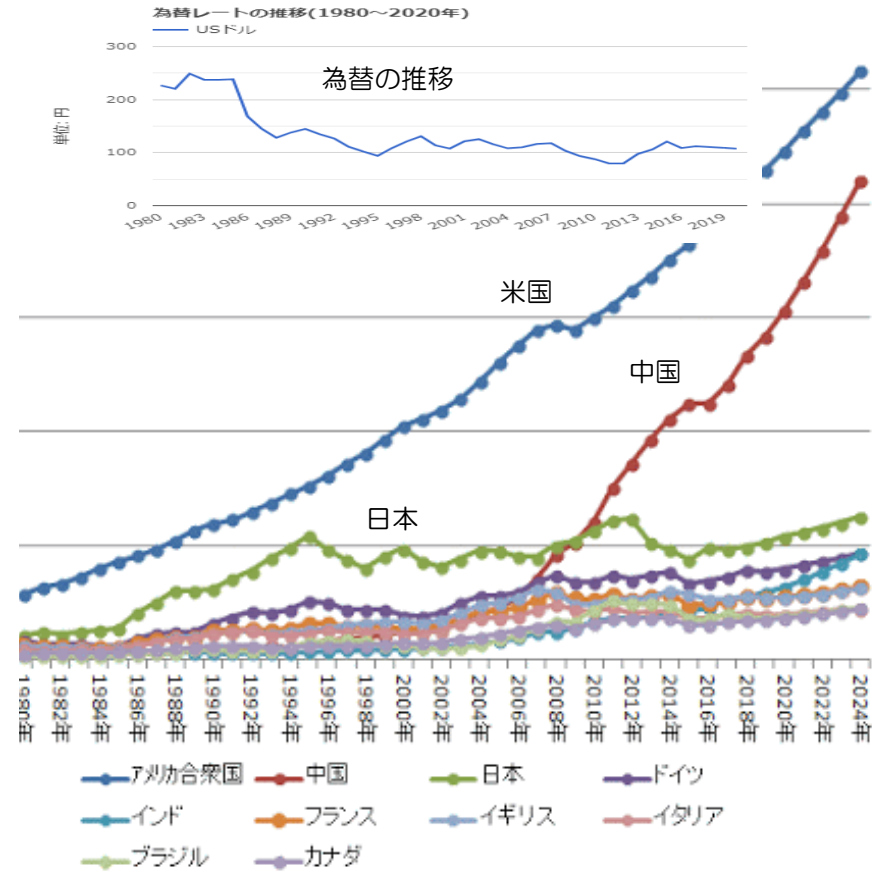
1人あたりGDPの歴史的推移(700~1850年、日本と主要国)



(注) 日本については、下記資料、中国はBroadberry et al.(2017)、その他はBroadberry(2016)、マディソン推計はMaddison(2001)による

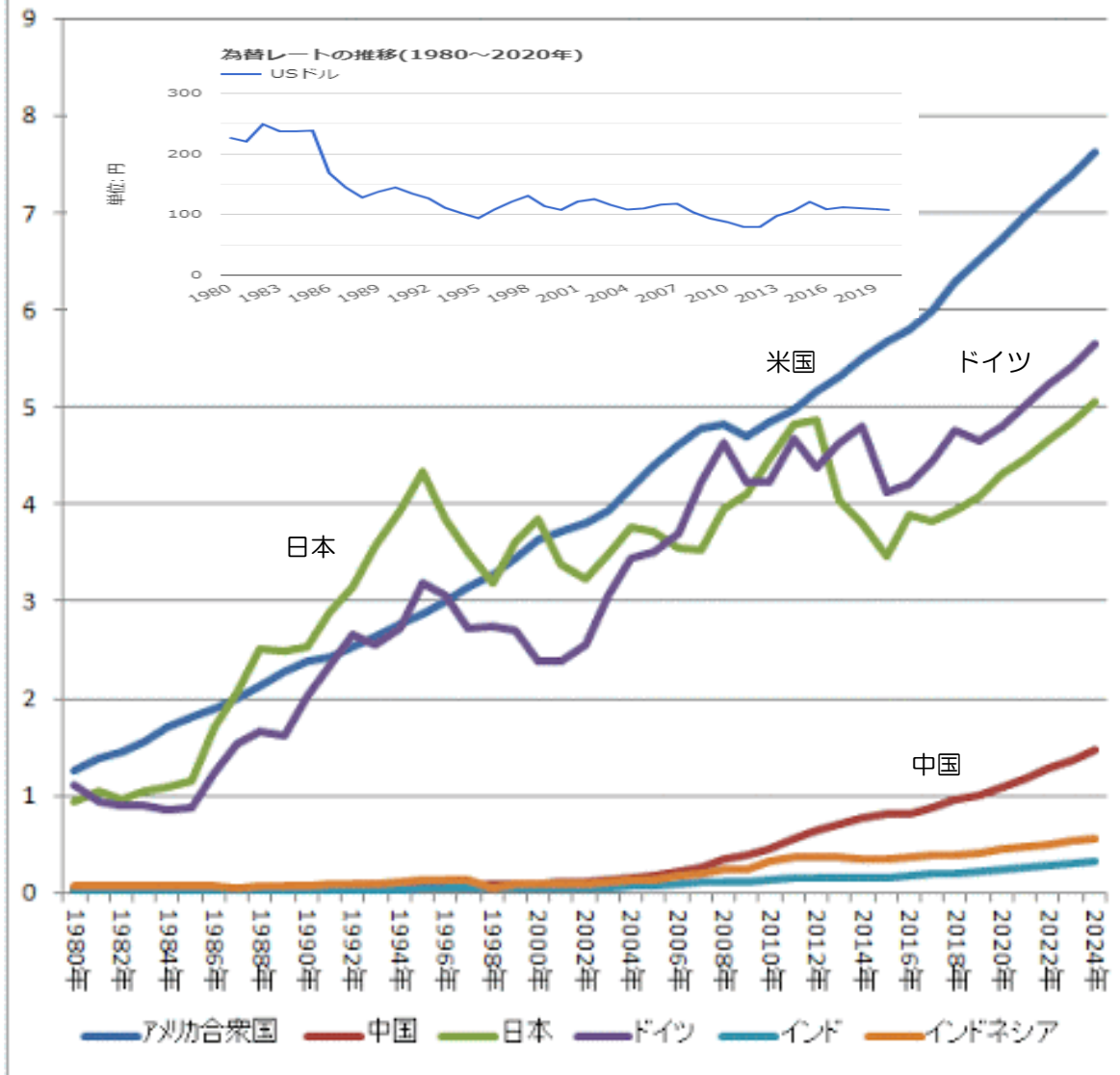
(資料) 高島正憲・深尾京司・西谷正浩(2017)「岩波講座日本経済の歴史1 中世序章第1節成長とマクロ経済」(p.22,293)、深尾京司・斎藤修・高島正憲・今村直樹(2017)「岩波講座日本経済の歴史2 近世巻末付録生産・物価・所得の推定」(p.285)

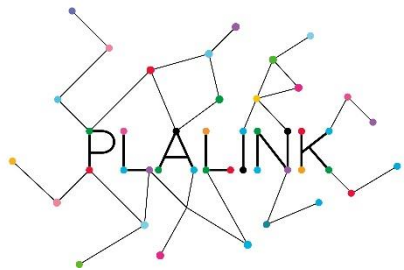
主要国名目GDP
(米ドルベースで2020年時点の上位10か国、IMF予想含む、兆米ドル)





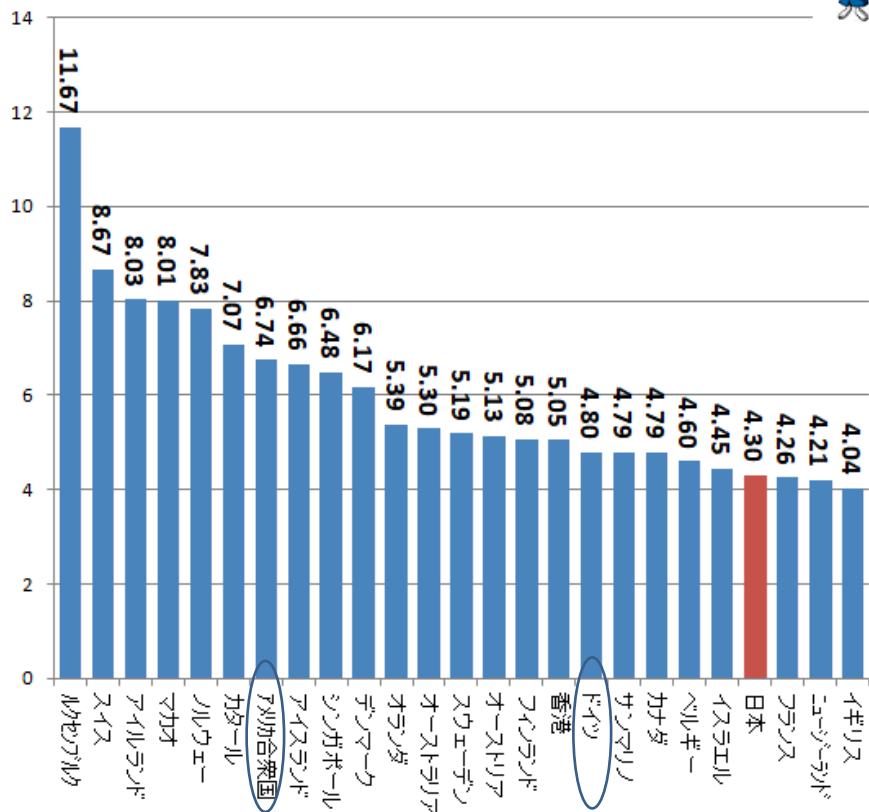
国民一人あたり名目GDP (主要国、IMF予想含む、万米ドル)



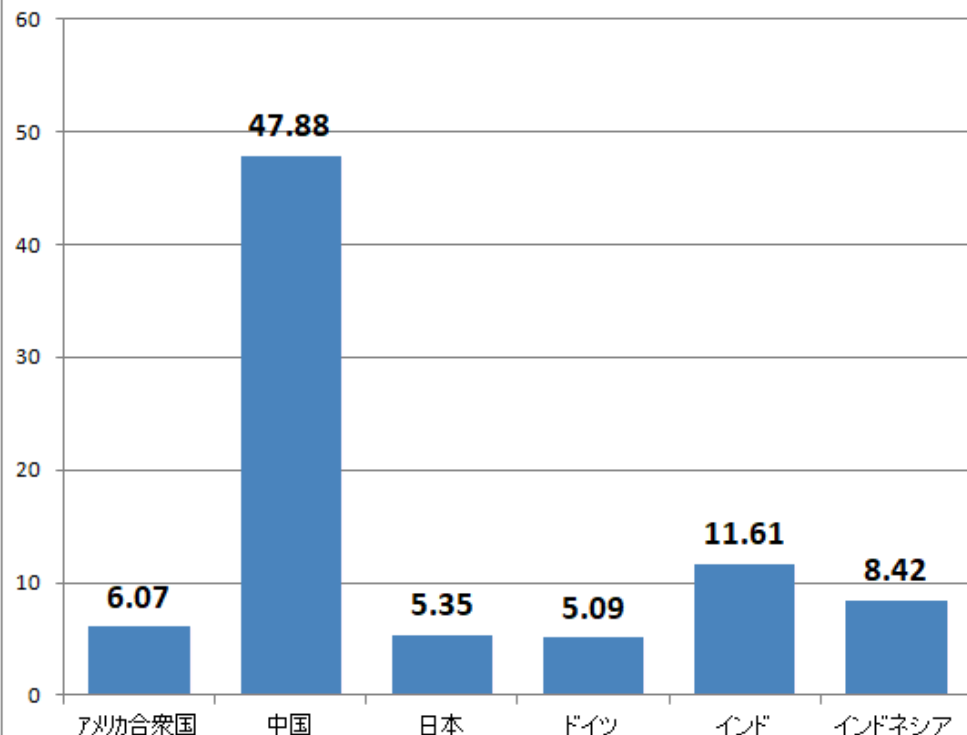


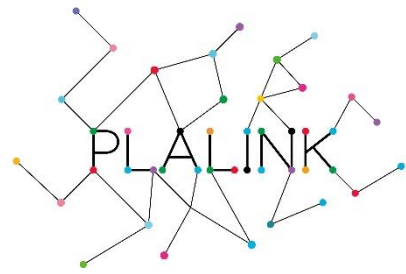
世界における一人あたり名目GDP

国民一人あたり名目GDP(IMF予想、上位国、万米ドル)(2020年)

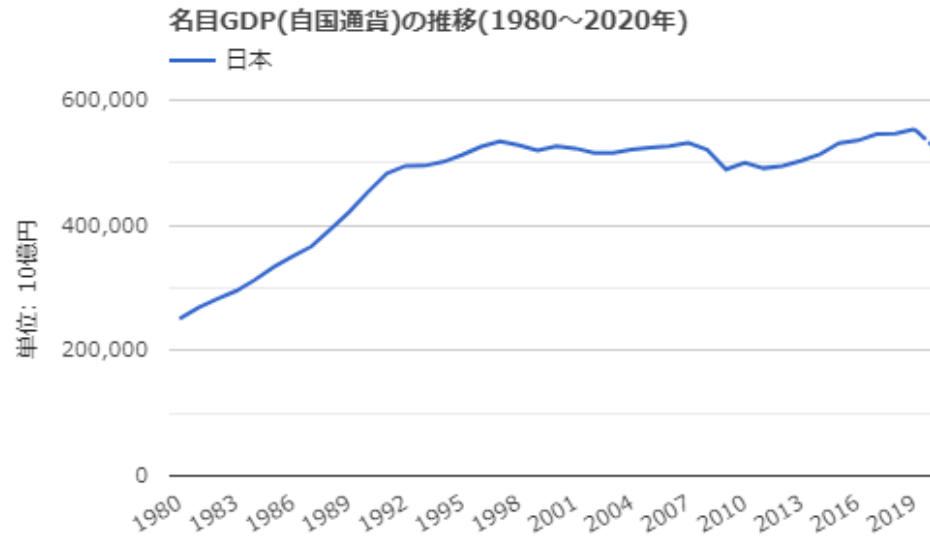


国民一人あたり名目GDP
(主要国、IMF予想、2024年は1980年の何倍か)

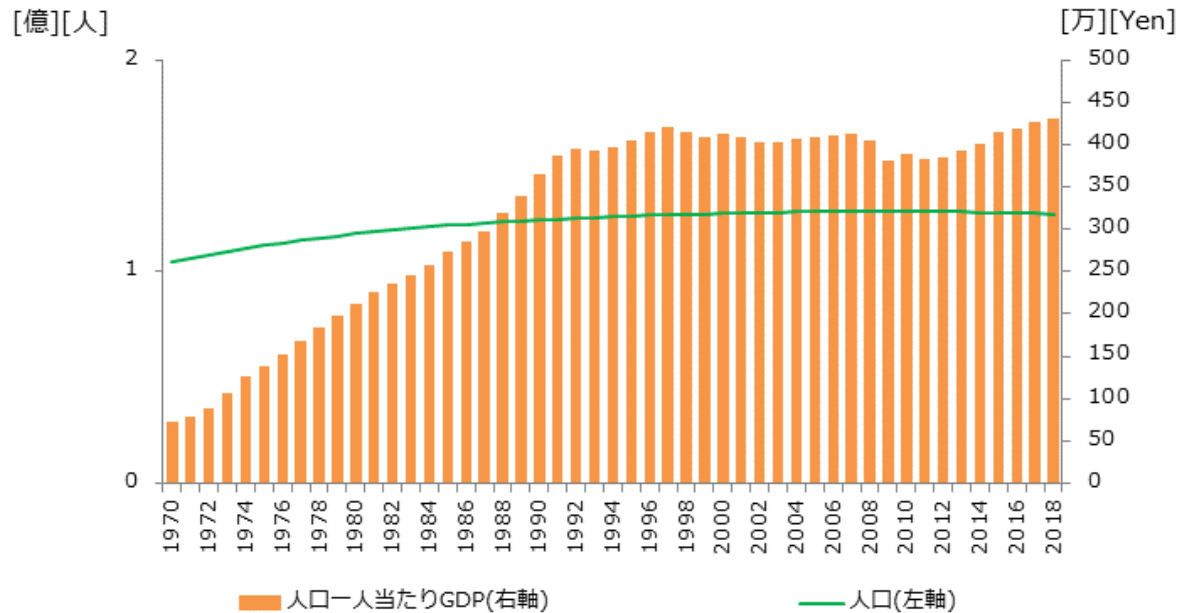




円ベースでの名目GDP推移



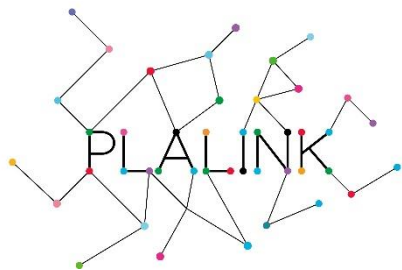
人口と人口一人当たりGDP(自国通貨名目)の推移





歴史の振り返り

- 1868年明治維新から大東亞戦争まで産業は順調に発展
- 終戦後、「奇跡の復活」といわれる発展を遂げ1968年にGDP世界第2位となる。
- バブル崩壊まではGDP世界1位の米国にせまる勢いでGDPが拡大するもバブル崩壊以降、GDPは横這い
- 2008年リーマンショック、その後のドル100円を下回る円高で貿易収支が悪化。日本の製造業の国際競争力は低下
- 2010年以降は中国のGDP世界2位の座を明け渡し、その後は差が開いていく一方



今後の日本の成形加工業について考える

- 成形加工業の置かれている状況
- 今後の課題



【工業統計 & 機械統計 金額推移グラフ】

■ (機械統計) ■ (工業統計)

ピーク：1991年
生産高：1兆9,575億円
事業所：12,815事業所
従業者 約11万8,000人

工業統計は全事業所を対象

機械統計は2013年まで従業員20名以上の事業所を対象、
2014年より従業員30名以上の事業所を対象

(100億円)

200

2008年9月
リーマンショック

150

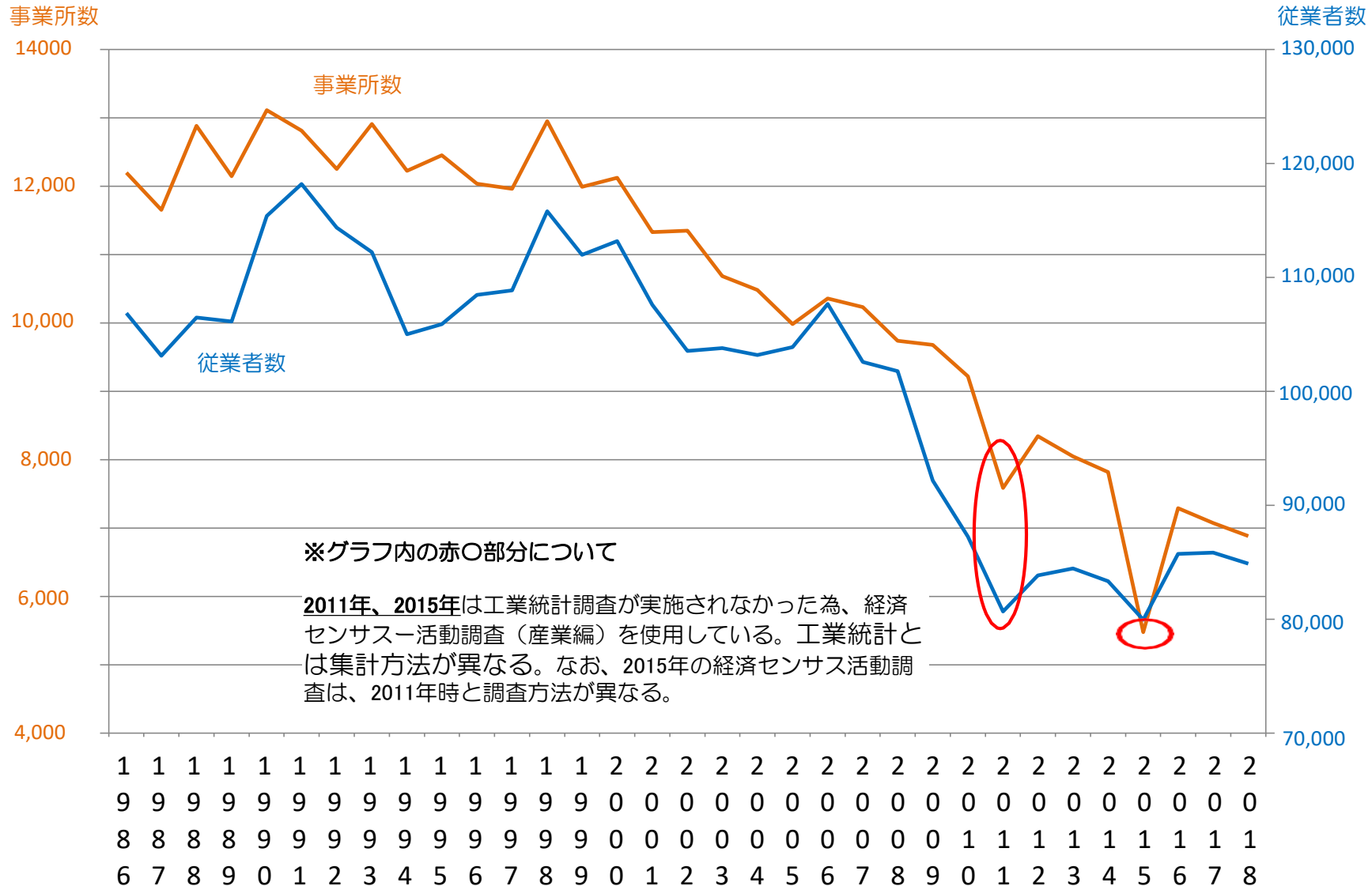
※2019年の工業統計は推定

100

50



金型事業所及び従業員数の推移





金型企業ビジョン作成のための六つのキーワード

まず基本となるキーワードは三つあり

第一のキーワード：営業力（提案力）

第二のキーワード：海外展開

第三のキーワード：金型技術を活かした周辺分野への事業展開である

加えて、この三つの基本キーワードをサポートするための三つのキーワードが存在する。

サポートキーワードとしては

第四のキーワード：人材確保・人材育成

第五のキーワード：技術研究開発

第六のキーワード：サプライチェーンを有効なものとするための
連携・提携の推進である。

出所：2014年 一般社団法人 日本金型工業会

PLALINK CORPORATION



今後の取組み

問題点が分かっているにもかかわらず根本的な解決に至らない！なぜ？

危機感の不足？動き方が分からない？
現在の延長線上の改善では解決できない！
生き残りをかけた変革に取り組もう！

顧客から求められる潜在ニーズを探し出す事が重要
(顧客自身もわかっていない)

情報を集め分析し、仮説を立て迅速に動き改善を継続
(PDCAを素早く回す)



今後の日本の成形加工業の課題

「持続的な技術力強化、成長ができる事業構築が必要」

新規製品を他社に先駆けて事業化する

- 顧客のニーズを先取りして技術の種を持つ
- 適社性、時間軸を意識した取り組み
- 自社完結に拘らず必要に応じて他社との協業を視野に入れる。

顧客との連携による事業全体視点での競争力の獲得

- 製品設計段階の付加価値創出、合理化

*** プロセス毎の品質、コストで中国と競争してはいけない！**

「視野を広く持ち、客観的な分析と行動力が必要」

ご清聴ありがとうございました

プラリンクは必死に頑張っている
リーダーを応援いたします

プラリンクでできる事

- 事業構築サポート

- 新規顧客、パートナーのご紹介
- 新技術のご紹介
- デザイン、設計
- 発明のアイデア出し、先行技術調査、特許出願、特許化対応

- 技術力強化

- 技術者教育
- CAE活用に関する支援
- 設計DRへの参加

プラリンクは人材、技術を拡充し、より一層、プラスチック業界に貢献してまいります。